

夏を涼しく乗り切ろう！ 緑のカーテン活用ガイド

まちに緑を
増やそう！



■緑のカーテンの効果

- ◎直射日光を遮るとともに、葉の蒸散作用（水分が蒸発するときに温度を下げる作用）で建物の温度上昇を抑えます。
- ◎冷房の使用量が減ることで、省エネ、節電効果があり、地球温暖化の防止につながります。
- ◎まちの緑が増えることで、人々に憩いと安らぎを与えます。



京都市役所での緑のカーテン(H23)

■こんな植物が植えられます

代表的なものはアサガオ、ゴーヤ、ヘチマ、ヒョウタンなどですが、他にもパッションフルーツやブドウ、ツルムラサキなど、花や実を楽しめる植物がたくさんあります。



アサガオ:昔からあるアサガオの他、昼間も咲き、開花期間も長いセイウアサガオも人気です。



ゴーヤ:黄色い小さい花と、苦みのあるおいしい実が楽しめます。



ヘチマ:50cmくらいの大きな実がなります。化粧水やヘチマたわしが作れます。

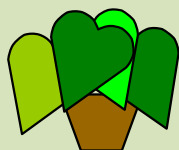


ヒョウタン:実がなったら収穫して中身を取り出し、水筒が作れます。

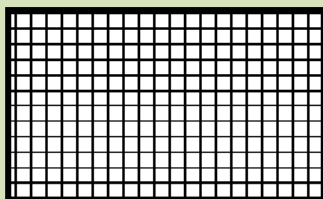
■緑のカーテンの設置方法について



◎必要なもの



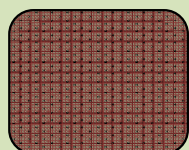
◎種・苗(プランター1つ
あたり1~2株)



◎誘引用ネット



◎プランター



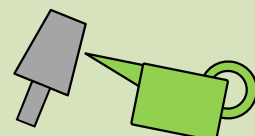
◎培養土・鉢底石



◎基肥(最初に土に混ぜる肥料)
※緩効性、遅効性の肥料を用意
してください。



◎追肥(追加で使う肥料)
※速効性の肥料を用意して
ください。

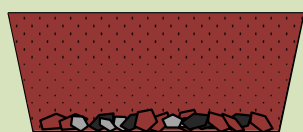


◎スコップ、ジョウロ等

※肥料は、用途の違う2種類のものがが必要です。
※1回あたりの使用量、使い方は、肥料の説明書等を確認してください。

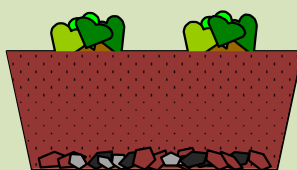
◎植え方

①プランターに鉢底石を敷き詰め、土と基肥を入れます。基肥の使い方は製品の説明書をよくお読みください。

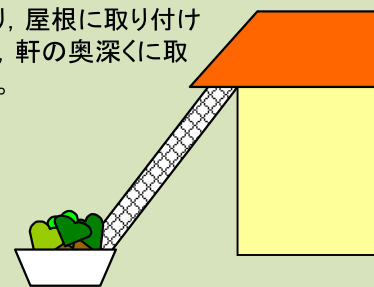


②苗を植えます。40リットル程のプランターに、2株程度が適当です。

※詰めて植えすぎると、大きく成長しにくくなります。

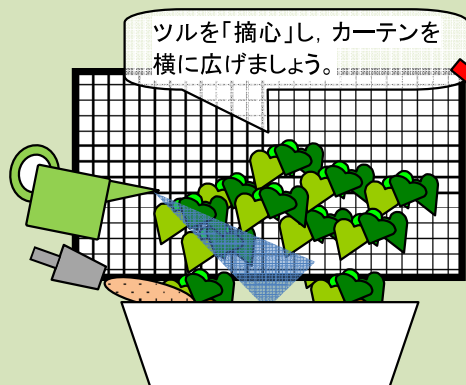


③ネットを張ります。できるだけピンと張り、屋根に取り付ける場合は、軒の奥深くに取り付けます。



④水やりは毎日、肥料(追肥)は2週間に1回くらいあげるのが目安です。

⑤梅雨明けくらいから緑のカーテンが楽しめます。夏の間、花や実を楽しんだら、葉が枯れてくる秋~冬にネットごと撤去してください。



摘心とは

本葉の上で、ツルの先端を切ることです。残った葉のワキから新たにツルが伸びます。

